

## 「今、なぜロースクールで学ぶのか ☆列島縦断リレー☆法科大学院がわかる会 2015」

(2015年10月31日・名古屋会場)

### <来場者①>

今回の法科大学院キャラバンで、法実務に携わる裁判官や弁護士の方からお話を聞いて良かったです。普通に大学生活を送っているだけでは、裁判官や弁護士の方のお話を聞くことがないので貴重な体験となりました。ただ、検察官の方がいらっしゃらず、検察官の方からお話を聞くことができなかったのが残念でした。今回のキャラバンで印象に残ったことは、法科大学院の魅力と弁護士の実情についての話でした。このキャラバンで話を聞くまで私は、司法試験予備校があるなら法科大学院に行かなくてもいいのではないかと思っていました。しかし、裁判官や弁護士の方から“司法試験予備校と違い、法科大学院は模擬裁判などのプログラムによって、法実務に役立つスキルを磨ける”というような法科大学院ならではの魅力についてのお話を聞くことで、法科大学院の有用性を知ることができたので良かったです。また、マスコミが報道しているような弁護士業界の現状は事実ではないということや、本当の弁護士業界の現状を知ることができたのも良かったです。

### <来場者②>

私は、小学校高学年頃に見たドラマの影響で法曹を目指すことを決意しましたが、未だ漠然とした気持ちのまま、法学部に進学してしまいました。そこで今回、この「法科大学院がわかる会」で法科大学院で実際に学んだ方々の話を聞いて、自分の法曹への志を確固たるものにしたいと考え、この会に参加しました。

実際に参加してみて、法科大学院を卒業した後、弁護士として働いてらっしゃる上松先生と松田先生のお話は、現在自分が抱えていた勉強についての不安などを取り除いてくれました。また、第二部での個別懇談会では、それぞれの法科大学院について特色やカリキュラムなどの説明を受け、一つの選択肢として名大以外の法科大学院への進学も考えるようになりました。

やはり、予備試験からの合格率の低さを聞くと、法科大学院への進学が法曹へ進むためには最善だと考えられるので、学部一年生である今のうちからしっかりと勉強をして自分の夢への足がかりにしていきたいと思いました。

今回、この講演会に参加したことは私にとって、とても大きなメリットになったと思います。もし次に参加する機会があれば、私の志望が検事であるため、検察官の方のお話もあるといいと思いました。